

特定失踪者

# 捜査要望書 県警に提出

## 救う会群馬 横田夫妻 7日来県

北朝鮮による拉致被害者家族などを支援する「救う会・群馬 群馬ボランティア



県警への要望内容を記者に説明する大野事務局長(左)(4日、県庁で)

アの会」は4日、県警の相浦勇二本部長宛てに、拉致の可能性が排除できない特定失踪者らへの積極的な捜査を求める要望書を提出した。

提出後、記者会見を開いた同会の大野敏雄事務局長は「捜査、調査をし、全容解明に向け最大限の努力をする」との回答をもらった。お任せして大丈夫だという確信を得た」と話した。

一方、北朝鮮による拉致被害者の横田めぐみさんの両親、滋さん、早紀江さん夫妻が7日、桐生市内のイベントに出演する。北朝鮮の全面的な調査が決まっ

から、県内の公の場に姿を見せるのは初めてという。イベントは、同市のボランティア団体「宙のこえの会」が主催。夫妻のフリートークのほか、めぐみさんと中学時代に同級生だったバイオリニストも参加予定で、演奏会も開かれる。

# 特定失踪者捜査 県警に進展要望

### 救う会・群馬

拉致被害者の家族を支援する市民団体「救う会・群馬」(大野トシ江代表)は4日、県内に家族が在住していると同会が把握している特定失踪者5人について、捜査を進展させるよう県警本部に要望した。

日朝政府間協議で北朝鮮が約束した拉致問題の再調査では、特定失踪者も対象

となる。同会の大野敏雄事務局長は「今回は特定失踪者の帰国を強く期待している。このタイミングで救う会の義務を果たしたい」と要望した理由を述べた。県警は増村悟樹警備部長らが対応。会によると、5人のうち3人については県警がDNA採取などの捜査を進め、県外で行方不明になった2人は埼玉、福井県

# 本県失踪者の 拉致実証を要請

### 県警に「救う会」

北朝鮮が拉致の可能性を否定できない失踪者を含む日本人拉致被害者の包括的な再調査をする方針を示したことを受け、被害者や家族らを支援している「救う会・群馬 群馬ボランティアの会」は4日、県警に対し、本県関係の失踪者の調査を進め、拉致を実証するよう求める文書を提出した。こうした要望を同会がするのは初めて。

同会は県警のこれまでの調査状況も照会。県警は、1970～80年代に県内で失踪した男女3人についてDNAを採取するなどの調査を進めているほか、前橋市出身で71年に埼玉県川口市で行方不明になった井上克美さん(失踪当時21)

警が捜査しているとの説明を受けたという。

については埼玉県警と連携して調べていると回答したという。県庁で記者会見した同会の大野敏雄事務局長は「失踪者の家族は高齢化している。生きていっているに解決してほしい」と訴えた。